

んだすな

2018

9

『んだすな』には、人と人が願いを共感し、協力しあえたらという想いが込められています。



『おおだて夢灯り』

1. 北海道胆振地方中東部地震に関して
2. 団体・活動を知ってもらう
3. Information（助成金や募集など）



8月11日、大館市長木川市民広場（白鳥広場対岸）の風景。これは、灯ろうを作り、花火とともに灯す「大館夢灯かり」といい、NPO ものづくり塾が平成22年から実施しています。ものづくり塾は約1,000個の灯ろうを作り、花火とともに灯し、まつりを彩る活動をしています。市民参加型のイベントとして定着し、灯ろうの設置や点灯は市民ボランティアの協力を得ています。灯ろうの材料には資源の利活用、リサイクルの観点から使用済みペットボトルや包装紙などを使用し、エコ活動、環境保全にも取り組んでいます。

1. 北海道胆振地方中東部地震に関して

ボランティアについて

7日時点、ボランティアの受け入れ態勢が整っておらず、道と道災害ボランティアセンターでは、現時点でボランティアの募集をしている市町村はないとしています。道災害ボランティアセンターによりますと、「支援の申し出など寄せられていますが、ライフライン機能が回復するまでの間は、ボランティアセンターの受け入れ体制を整える準備期間とする」とのことです。

各災害ボランティアセンターの開設場所や受け入れ体制等が整いましたら、改めて、Facebook 等でご案内されます。思い余って出発せず、まず情報収集をしましょう。

【災害支援ボランティアに関する情報】

- ・北海道被災者支援ボランティア情報 (Facebook ページ)

<https://www.facebook.com/hokkaidovc/?fref=nf>

個人が被災地にボランティアとして参加するには、災害が起きた自治体などが設置のボランティアセンターに行くか、災害ボランティア団体などの募集に登録して、その一員として現地に行く方法があります。

↓ ボランティアの心構えについての詳細は7月号に掲載 ↓



北海道胆振地方中東部地震に関する支援金、義援金について

北海道で震度7を観測した地震で、いまできる有効な手段は「寄付」です。寄付には、被災者に平等に100%分配される「義援金」と被災地の救命・復旧に速やかに使われる「支援金」と違いがあります。西日本豪雨に際して7月号でも掲載しましたが、再度掲載します。

【義援金の特徴】

- ・被災者に届く
- ・被災者に平等に100%配分される
- ・被災者に届くまで時間がかかる

【支援金の特徴】

- ・被災地支援者に届く
- ・被災地の救命・復旧に速やかに使われる
- ・支援団体が使い道を決定する
- ・すぐに被災地に届く

●振込で寄付

- ・災害復興支援特別基金・平成30年北海道胆振東部地震【日本財団】
- ・日本赤十字社はHPにて決まり次第公開

●ポイントで寄付

- ・北海道地震被災者支援【LINE Corporation】
- ・緊急募金 平成30年北海道地震義援金

【株式会社Tポイントジャパン】

- ・北海道地震被害支援募金【楽天クラッチ募金】
- ・平成30年北海道胆振東部地震 緊急災害支援募金【Yahoo! 基金】

●ふるさと納税で寄付

- ・さとふる「平成30年9月 北海道胆振地方中東部地震 災害緊急支援募金」

●クラウドファンディングで寄付 (支援金や義援金に)

- ・平成30年北海道胆振東部地震【ふるさとチョイス】
- ・緊急災害支援金【株式会社CAMPFIRE】
- ・北海道地震災害支援募金【株式会社マクアケ】

2. 団体・活動を知ってもらう

SNS を上手に使う基本編～自分で出来る PR とブランディング～

「知られていないのは存在していないのと同じ」。冒頭、講師である ds 計画の伊藤大介氏からこの一言で始まりました。9月8日(土)午前9時30分、北部男女共同参画センターにて SNS セミナーが日本政策金融公庫と秋田県北 NPO 支援センターの主催にて行われました。約20名が参加し、どういふところに気を付けて SNS(Social Networking Service) を使った情報発信をするかについて、学びました。



ワークショップのようす (9/8) 秋田県からの助成金等の案内や事前申し込みにて個別相談会も実施しました。

第1部、大介氏は facebook や twitter、instagram などそれぞれのサービスの特徴や利用するターゲット年齢層のちがいを活かし、工夫した取組み方を紹介。「どう見せたいか」と「どう見られているか」のギャップを埋め、バランスよく(情報が)浸透されやすい立ち位置を見つけることが重要であると語りました。

第2部では、秋田県地域の元気創造課の齋藤小夜里氏による秋田県の助成金等の紹介および特定非営利活動促進法の運用について説明が行われました。



イベントを通じた情報発信 「地域活力発見フェスタ in 大館圏域産業祭」

10月27日(土)、28日(日)10:00~16:00の2日間、ニプロハチ公ドームにて、地域活力発見フェスタ in 大館圏域産業祭が去年に引き続き行われます(のぼりが目印!)。NPO 団体・ボランティア団体及び社会貢献に取り組む企業等の紹介ブースを設け、市民活動の相談ブースも設けます。お気軽にお声掛けください!



平成29年度の地域活力発見フェスタのようす

●地域活力発見フェスタとは…

秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課の主催による、県内で地域活性に取り組む団体やコミュニティビジネス事業者の日頃の活動をアピールする場です。

参加していただくことで、賛同者や新たなネットワーク構築や気づきにつながるきっかけを創出する目的で開催します。

もし、ブース出店の希望がありましたら、北部市民活動サポートセンターまでお声掛けください。

●地域活力発見フェスタに関するお問合せ先●

特定非営利活動法人 秋田県北 NPO 支援センター
連絡先: 01869-49-8553 (北部市民活動サポートセンター)

担当: 高坂翔、浅利博樹

●「コミュニティビジネス立ち上げ推進事業」の補助団体を募集

【秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課】

募集期間：2018年9月28日（金）午後5時まで
 補助内容：必要となる開業経費の1/2以内で、かつ、上限80万円
 問合せ先：県北部 NPO法人 秋田県北NPO支援センター
 大館市字馬喰町 48-1 北部市民活動サポートセンター内
 電話 0186-49-8553
 URL <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/36871>

●2018年度国内助成プログラム

【公益財団法人トヨタ財団】

募集期間：2018年9月1日（土）～平成30年10月10日（水）
 補助内容：上限100万円、実施内容と申請額に基づいた金額
 問合せ先：〒163-0437 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 新宿三井ビル37階 公益財団法人トヨタ財団 国内助成プログラム担当：喜田、鷺澤、石井
 TEL：03-3344-1701 FAX：03-3342-6911
 Email gp4ca@toyotafound.or.jp
 URL <http://www.toyotafound.or.jp/>

●スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム【公益財団法人 住友生命健康財団】

募集期間：2018年9月10日（月）～10月10日（水）必着
 補助内容：上限50、200万円（各コース合わせ総額1400万円）
 問合せ先：公益財団法人住友生命健康財団 助成プログラム係（担当：谷利・天野）TEL：03-5925-8660 FAX：03-3352-2021 Email：sports@am.sumitomolife.co.jp
 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町4-41 住友生命四谷ビル6階
 URL http://www.skzaidan.or.jp/#sport_application

●花王・みんなの森づくり活動助成

【公益財団法人都市緑化機構】

募集期間：2018年8月1日（水）～10月14日（日）※当日消印有効
 補助内容：初年度と2年目各50万円上限、3年目25万円上限
 問合せ先：公益財団法人都市緑化機構 みんなの森づくり事務局
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
 TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
 Email：midori.inf@urbangreen.or.jp ←☆を@に
 HP：https://urbangreen.or.jp/grant/kao_minnanomori/guideline-kaou

【県央部、県南部の相談はこちら】

■県央部
 あきた中央市民活動サポートセンター
 秋田市上北手荒巻字塚切24-2
 電話 018-829-5801

■県南部
 南部市民活動サポートセンター
 横手市神明町1-9
 電話 0182-33-7002

【サポセンで配布中】

NPOの便利帳

コミュニティビジネスガイドブック2017



みんな
 たな

●組織および事業活動の強化資金助成

【公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団】

募集期間：2018年9月3日（月）～10月12日（金）17時
 補助内容：1団体50万円上限（総額1,000万円を予定）
 問合せ先：公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 電話：03-3349-9570
 FAX：03-5322-5257
 URL：<http://www.sjnkwf.org/>

●第14回 TOTO 水環境基金

【TOTO株式会社】

募集期間：2018年8月10日～10月20日（当日消印有効）
 補助内容：1件あたり、上限80万円/年×最長3年（最大240万円）。
 問合せ先：〒802-8601 北九州市小倉北区中島2-1-1 TOTO株式会社 総務部 総務第二グループ 担当：津田、原
 TEL：093-951-2224 / FAX：093-951-2718
 URL：<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/group/index.htm>

●2018年度活動助成案件選定【三井物産株式会社】

募集期間：2018年10月20日（土）当日消印有効。※直接持込やバイク便は不可
 補助内容：上限なし。但し、案件の認められる金額の範囲内。
 問合せ先：〒100-8631 東京都千代田区丸の内1-1-3 三井物産株式会社 環境・社会貢献部「環境基金2018年度活動助成」係 TEL：03-6705-6156
 E-mail：18MBK-KankyokikinTKVCE@mitsui.com
 URL：<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/group/index.htm>

●2018年度活動助成案件選定【三井物産株式会社】

募集期間：2018年10月20日（土）当日消印有効。※直接持込やバイク便は不可
 補助内容：上限なし。但し、案件の認められる金額の範囲内。
 問合せ先：〒100-8631 東京都千代田区丸の内1-1-3 三井物産株式会社 環境・社会貢献部「環境基金2018年度活動助成」係 TEL：03-6705-6156
 E-mail：18MBK-KankyokikinTKVCE@mitsui.com
 URL：<https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/group/index.htm>

9月6日、北海道胆振（いぶり）地方を震源とする最大震度7の強い地震が起きました。停電がすこずつ解消していますが、今も安否不明の方がいらっしやいます。ただだ、ご無事を祈るばかりです。

センターでは防災コーナーを再設置しました。秋田がいかに比較的災害に見舞われていない地域だとしても、災害は決して他人事ではなく、日々の延長線にあるのだと再認識する必要があります。（高坂）

編集後記

秋田県北部市民活動サポートセンター

開館時間 月火水金 9:00～21:00、土日 9:00～17:00
 木曜と年末年始（12/29～1/3）は休館

〒017-0842 大館市字馬喰町48-1（北部男女共同参画センター内）
 TEL.0186-49-8553 / FAX.0186-49-8589
 [HP] <https://akita-north-civic-act.jimdo.com/>
 [Facebook] <https://www.facebook.com/akita.north.civic.act/>

編集 特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター
 編集人 高坂翔
 発行 秋田県 あきた未来創造部 地域の元気創造課

